

デジタルものづくり研究会

支援先

県内製造企業等

【目的】

昨今の製造業では、機能性向上、コスト低減、開発期間の短縮が大きな課題となっています。大企業ではコンピュータ上で構造や強度の評価を行う 3 次元設計データを活用したものづくりが一般的になってきており、中小企業においても、3 次元 CAD データを活用した付加価値の高いものづくりが求められています。そこで、当センターでは「デジタルものづくり研究会」を組織し、高付加価値ものづくりのための人材育成や、手仕事の技術を継承する支援を行っております。

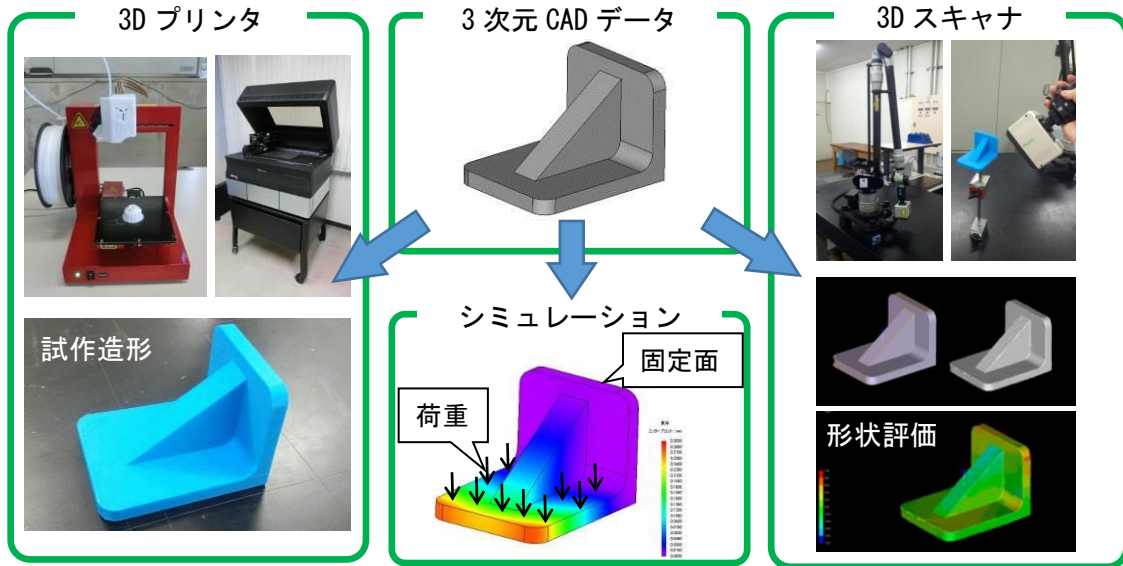


図 1 デジタルデータの活用例

【内容】

○第 1 回 平成 28 年 8 月 24 日 (参加者 : 17 名)

講演 「3D プリンタの最新動向とリコーにおける活用事例のご紹介」

リコージャパン株式会社 三浦 祐一 氏

「3D スキャナで製品プロセスを変える…」

株式会社データ・デザイン 熊谷 俊男 氏

3D プリンタ, 3D スキャナの特徴や最新の活用事例についてご講演 (図 2) 頂きました。また、実機デモやさまざまな種類の 3D プリンタの造形サンプルの展示 (図 3) を行いました。



図 2 講演の様子



図 3 造形デモ・サンプル展示

基礎となった事業

平成 28 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (研究会)

現在の担当部門

技術融合部門

部 門 長 大高 理秀

TEL : 029-293-7482

主 任 山下 宏

主 任 岡田 真

技 師 前島 崇宏